

## インド「よいとまけ」物語 21

2月2日(続き)

昨日の昼にジェイラムがゴラクプールから石と作業員を乗せて、救急車で帰りました。この車は患者の送迎やら大活躍です。

早速、石屋が切断するための土台づくりを始めました。



石は必ずしも直角に切断していないのでこの様な直角だしの土台を作る様です。かなり神経質に「黄金の比」を使っています。ここで失敗すると直角に収まりません。

石切も「チューブ」で水を当て冷却しています。

イヤー、初めて「電気道具」を見ました。今まで、殆どが手作業ですから感激しました。おかげで、発電機がいつも動くので、充電、プリントも出来ます。ありがたい、ありがたい。

2月3日

今日は日曜日。Drはファイザバードにいる妻と子供を迎えに、ジェイラムと4、5時間のたびに昨日の夜行きました。

「水平だし」が始まったぞ。あのチューブが出ました。建築開始時にも使っていました。「黄金の比」も使っていました。さすが「0」を発見した国ですね。



いよいよカッティングです。置いては置き直し、微調整をしながら、慎重に切っています。



う～ん、うまくいかな。削るべえ～。

まあ、良からう。

さあ、切るぞうー。

置いては直角、直線を確認しています。かなりの枚数ですから、時間がかかりそうですね。

でも、プロですね。テキパキとリズム良くこなしています。

カッターの刃は、もう2枚目です。

